

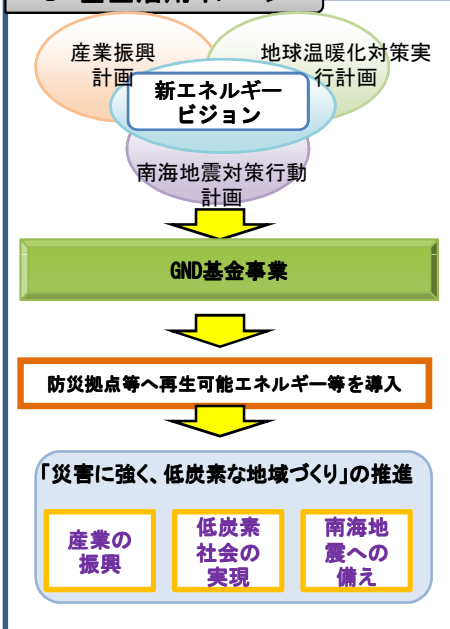
1 基金設置目的

グリーンニューディール基金(以下「GND基金」という。)を活用し、被災地域などの避難所や防災拠点において、災害時等の非常時に必要なエネルギーを確保するため、再生可能エネルギーや蓄電池、未利用エネルギーの導入等を支援することで災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムの導入を進める。

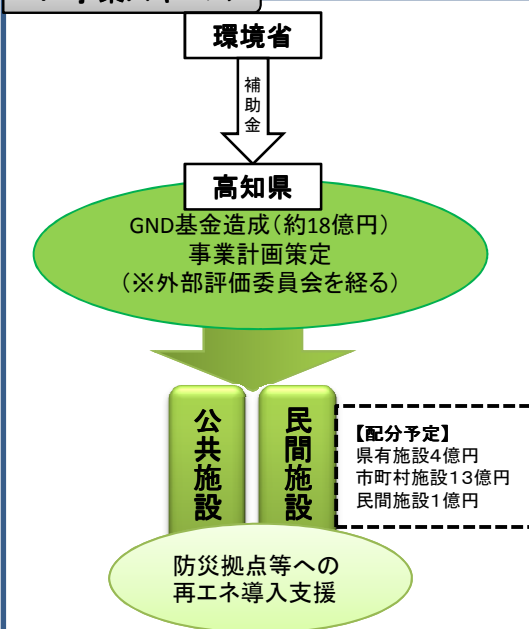
2 事業内容

- ・補助率 地方公共団体(県、市町村等) 定額(10/10)、民間事業者 1/3
- ・対象施設 地域の防災拠点や災害時等に地域住民の生活等に不可欠な都市機能を維持することが必要な施設等(庁舎、公民館、体育館、診療施設、警察署等、上下水道施設、学校、福祉避難所※、宿泊施設※、コンビニエンスストア※(※災害時に避難所等になり得るものに限る。))等)
- ・実施期間 平成25年度～平成27年度

3 基金活用イメージ



4 事業スキーム



5 想定導入事例

太陽光発電装置 10kW (28kWh/日) + 蓄電池 15kWh

事業費 約20,000千円

使用できる機器の例

【昼間:8時～16時(8時間)】	【夜間:16時～8時(16時間)】
パソコン 100w 3台 8時間	パソコン 100w 3台 5時間
照明 40w 10本 8時間	照明 40w 20本 10時間
携帯電話充電器 5w 20台 2時間	プリンター複合機 560w 1台 4時間
プリンター複合機 560w 1台 8時間	テレビ 150w 1台 10時間
テレビ 150w 1台 8時間	計 13kWh(蓄電池から放電)
計 11.5kWh+蓄電池15kWh	

6 今後の進め方(予定)

- 8月8日 基金事業説明会(対象:県内市町村)
- 9月2日 事業要望書の提出(市町村等→県)
- 25日 9月議会に基金条例案及び基金積立予算案を上程
- 11月 外部評価委員会開催(21日)
- 事業の採択施設を決定
- 国に対し基金事業計画書(3年間の全体計画書)を提出